

FUJITA

**2025年3月期第3四半期
決算補足説明資料**

2025年02月14日

株式会社フジタコーポレーション

証券コード:3370

○第3四半期累計は増収・減益

売上高 : ベビーフェイスプラネットの新規出店（4月）、かつてんイオン桑園店の取得（5月）及び既存業態の堅調推移、子会社売上の増加によって、前期より332百万円増加。一方閉鎖店の影響等により104百万円減少したものの228百万円の増収となった。

営業利益 : 新規出店による開業経費や人材投資等もあり営業利益はやや減益となった。

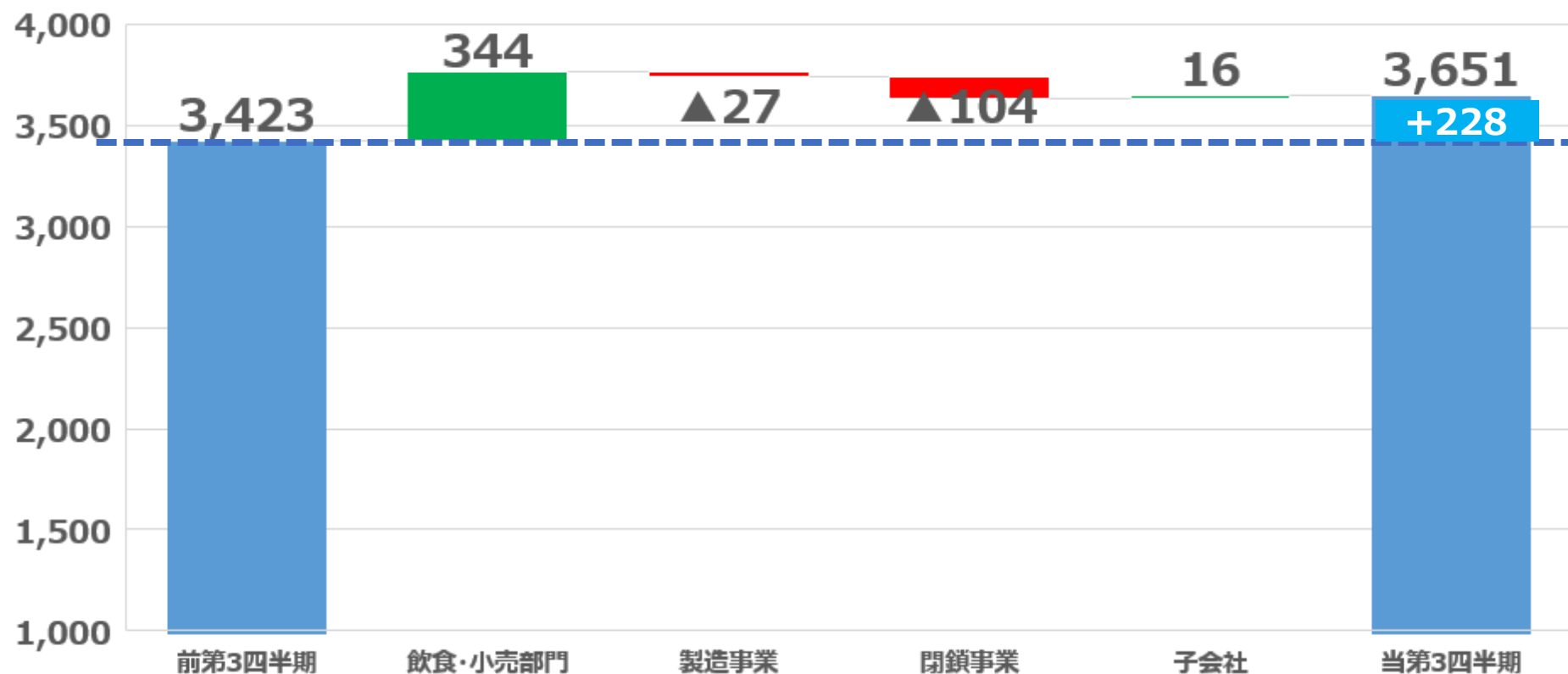
(百万円)

	24.3期3Q		25.3期3Q		前期比		年間計画	
	実績	売上高比	実績	売上高比	金額	対比	計画	進捗率
総売上高	3,423		3,651		227	106.7%	4,957	73.7%
売上総利益	1,974	57.7%	2,152	59.0%	177	109.0%	2,826	76.1%
営業利益	79	0	76	0	▲3	96.0%	131	58.0%
経常利益	89	2.6%	81	2.2%	▲8	90.2%	140	57.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	46	0	40	0	▲5	88.7%	105	38.1%

○セグメント別一売上高実績

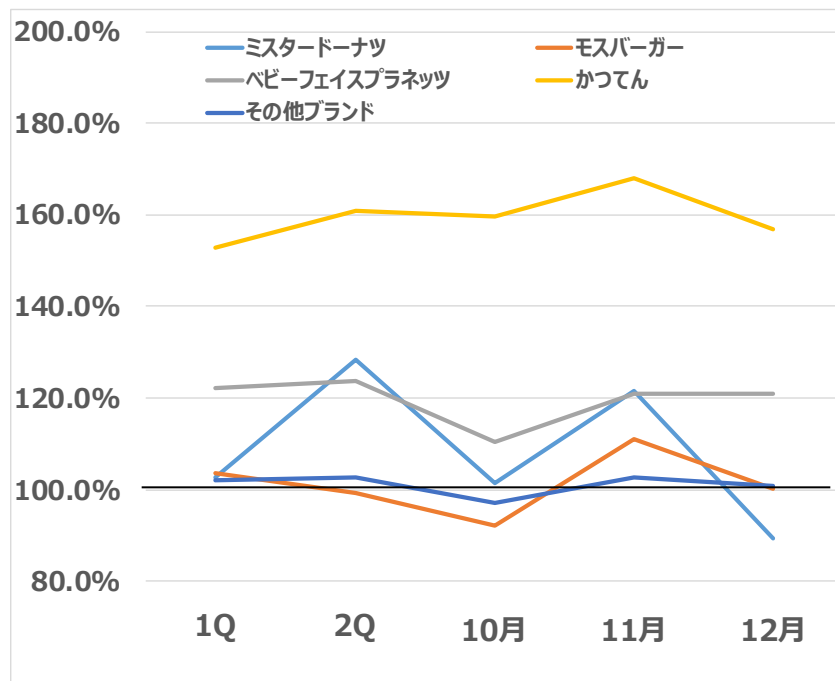
- 飲食小売部門が前第3四半期から+344百万円（前年同期比111.9%）
- 連結子会社の売上増加+16百万円
- 製造事業の売上減少△27百万円（前期ふるさと納税ルール変更に伴う影響）
- 事業閉鎖による売上影響△104百万円

百万円

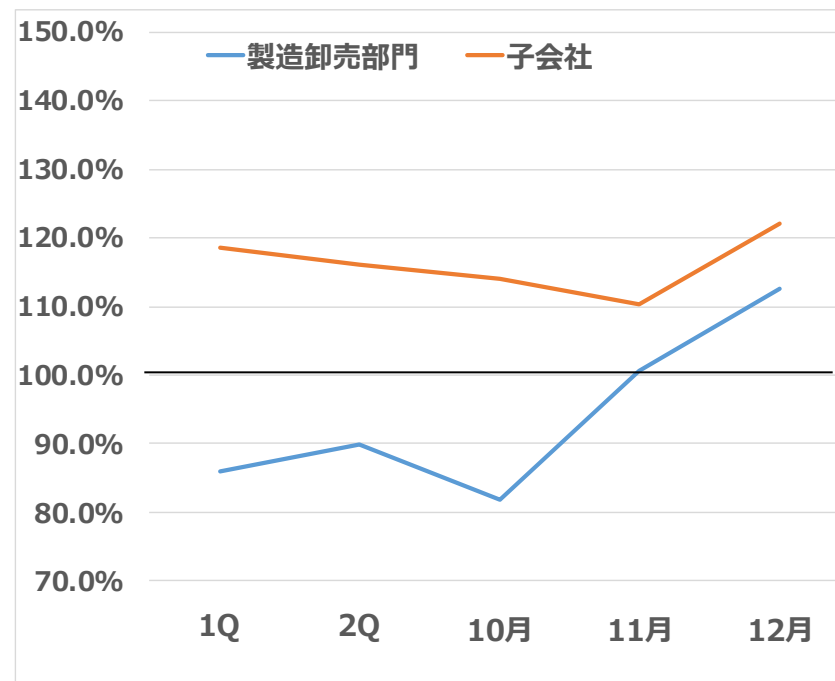


売上高前年比の推移（既存店）

- 飲食・小売部門においては、全ブランドで前期より伸長している
- 製造卸売においては、第3四半期は伸長。
 - ☞ 前期はふるさと納税ルール変更で10月までに集中していたのが、通常サイクルに戻ったため
- 子会社農畜産部門は乳牛増頭施策により順調に伸長。



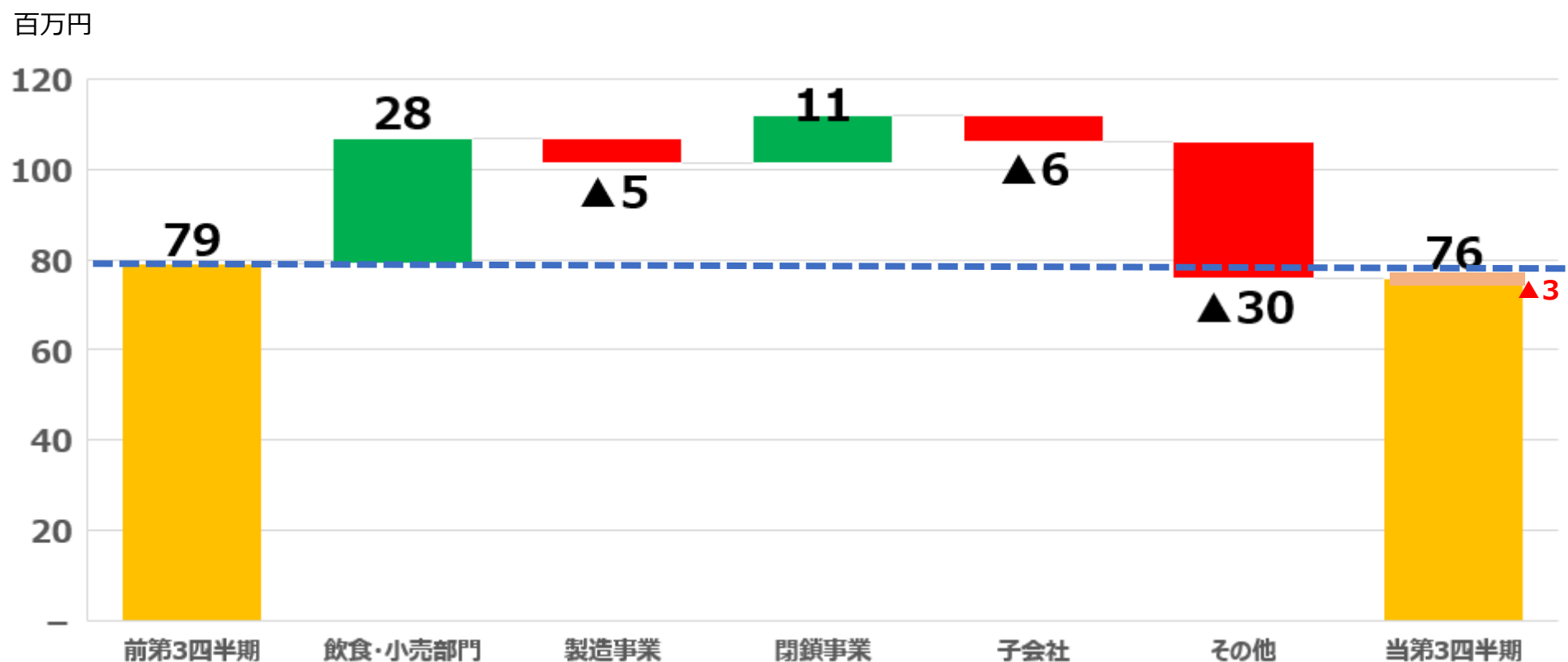
部門名	1Q	2Q	10月	11月	12月
ミスタードーナツ	102.7%	128.4%	101.3%	121.6%	89.3%
モスバーガー	103.4%	99.3%	92.0%	111.1%	100.1%
ベビーフェイスブラネツ	122.3%	123.6%	110.5%	121.1%	121.0%
かつてん	152.8%	160.7%	159.7%	168.1%	156.7%
その他ブランド	102.1%	102.7%	97.1%	102.7%	100.8%



部門名	1Q	2Q	10月	11月	12月
製造卸売部門	85.9%	89.9%	81.8%	100.5%	112.5%
子会社	118.6%	116.2%	114.0%	110.4%	122.1%

○セグメント別ー営業利益実績

- 飲食・小売部門が前第3四半期から28百万円
- 製造事業が前第3四半期から△5百万円（ふるさと納税ルール変更に伴った売上減少による影響）
- 事業閉鎖による利益影響 + 11百万円
- 連結子会社△6百万円
- 特定技能外国人雇用及び新規出店開業経費等により△30百万円



○連結貸借対照表

(百万円)

	前期末	第3四半期末	増減額
流動資産	855	728	▲126
現金及び預金	515	328	▲187
その他	340	400	61
固定資産	1,994	2,096	102
有形固定資産	1,290	1,413	123
無形固定資産	210	198	▲12
投資その他の資産	494	486	▲9
資産合計	2,849	2,824	▲24

	前期末	第3四半期末	増減額
流動負債	737	832	95
短期借入金	249	235	▲14
1年内返済予定長期借入金	82	165	83
その他	406	431	25
固定負債	1,973	1,812	▲161
長期借入金	1,846	1,691	▲156
その他	126	121	▲6
負債合計	2,709	2,643	▲66
純資産合計	139	181	42
負債・純資産合計	2,849	2,824	▲24

○新規出店（ベビーフェイスプラネット札幌手稲店）により、固定資産が増加

1. 営業店舗の出店・退店・改装

- ① ベビーフェイスプラネット札幌手稲店出店（4月）
- ② かつてんイオン桑園店（5月：FC店の直営化）
- ③ ミスタードーナツ苫小牧バイパスショップ改装（7月）
- ④ かつてん弘前ヒロロ店閉店（8月）
- ⑤ ミスタードーナツ ルーシー大谷地ショップ・八戸ラピアショップ・イオンモール盛岡ショップ改装（10月）
- ⑥ モスバーガーモルエ中島店改装（11月）



2. 特定技能外国人の雇用

人材不足解消と今後の海外展開を見据え特定技能外国人の雇用を開始。

⇒前期10人採用、当期は12月までで6人採用。



3. 製造・卸売事業

- ① 子会社TOMONIゆめ牧舎の廃用牛を活用した商品開発・展開
- ② 保有のカシス農園のカシスを使用したカシスリキュールの販売開始

商品のブラッシュアップ及び2次加工品を開発販売することで原材料高騰の影響を緩和。
今後の営業力強化を見据え人員を強化、育成を進めたことで人件費が増加したため、
前期を下回る結果となった。



4.子会社TOMONIゆめ牧舎

生乳買取価格は上昇、飼料価格単価は減少し経営環境が改善している。

- ①生産量増産に向け乳牛購入
搾乳頭数増により生産乳量が増加し、売上高前期比111.6%となった。
- ②飼料費削減に向けデントコーン作付の更なる拡大。
- ③廃用牛の加工、商品化⇒かつてんメニュー化、リテール販売



前期売上高にはその他補助金が22,232千円含まれている。
当期より計上先が売上高から営業外収益に変更となっている。

科目	当期	前期	対比	差異
売上高	156,780	140,527	111.6%	16,253
売上原価	149,070	132,791	112.3%	16,279
売上総利益	7,710	7,736	99.7%	▲26
販売費一般管理費	37,825	32,096	117.9%	5,729
営業利益	▲30,115	▲24,360	123.6%	▲5,755
営業外収益	27,887	23,001	121.2%	4,886
営業外費用	852	900	94.7%	▲47
経常利益	▲3,080	▲2,259	136.4%	▲822

▶
補正

前期の計上先を当期に合わせ補正した後の比較では
売上高前期比132.5%
営業利益前期比+16百万円

科目	当期	補正前期	対比	差異
売上高	156,780	118,295	132.5%	38,485
売上原価	149,070	132,791	112.3%	16,279
売上総利益	7,710	▲14,495	-53.2%	22,206
販売費一般管理費	37,825	32,096	117.9%	5,729
営業利益	▲30,115	▲46,591	64.6%	16,476
営業外収益	27,887	45,232	61.7%	▲17,345
営業外費用	852	900	94.7%	▲47
経常利益	▲3,080	▲2,259	136.4%	▲822

- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料の内容及び資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保障するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合であっても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。